

全国健康保険協会の
業績に関する評価結果について
(令和元年度)

業績評価結果一覧表

I. 健康保険

1. 基盤的保険者機能関係

令和元年度評価項目	平成30年度評価項目	令和元年度		平成30年度			
		自己評価	最終評価	自己評価	最終評価		
(1) サービス水準の向上	(5) サービス水準の向上	A	→	A	→	A	
(2) 限度額適用認定証の利用促進	(6) 限度額適用認定証の利用促進	A	↘	B	↘	B	
(3) 現金給付の適正化の推進	(1) 現金給付の適正化の推進	A	→	A	↘	B	
(4) 効果的なレセプト点検の推進	(2) 効果的なレセプト点検の推進	B	→	B	↘	B	
(5) 柔道整復施術療養費等の照会業務の強化	(3) 柔道整復施術療養費等の照会業務の強化	S	↘	A	→	A	
(6) あんまマッサージ指圧・鍼灸施術療養費の適正化の推進	—	A	↘	B	—	—	
(7) 返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進	(4) 返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進	B	→	B	↘	B	
(8) 被扶養者資格の再確認の徹底	(7) 被扶養者資格の再確認の徹底	S	↘	A	→	A	
(9) オンライン資格確認の利用率向上	(8) オンライン資格確認の導入に向けた対応	A	→	A	S	↘	A
(10) 業務改革の推進に向けた取組	—	S	↘	A	—	—	
(11) 的確な財政運営	(9) 的確な財政運営	A	→	A	→	A	

※【判定基準】

S: 計画を大幅に上回っている A: 計画を上回っている B: 計画を概ね達成している

C: 計画を達成できていない D: 計画を全く達成できておらず、大幅な改善が必要

2. 戦略的保険者機能関係

令和元年度評価項目	平成30年度評価項目	令和元年度		H30年度			
		自己評価	最終評価	自己評価	最終評価		
(1)ビッグデータを活用した個人・事業所単位での健康・医療データの提供	(1)ビッグデータを活用した個人・事業所単位での健康・医療データの提供	B	→	B	B	→	B
(2)データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)の着実な実施	(2)データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)の着実な実施	A	↘	B	A	↘	B
ⅰ) 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上	ⅰ) 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上	A	↘	B	S	↘	B
ⅱ) 特定保健指導の実施率の向上	ⅱ) 特定保健指導の実施率の向上及び平成30年度からの制度見直しへの対応	S	↘	A	S	↘	A
ⅲ) 重症化予防対策の推進	ⅲ) 重症化予防対策の推進	B	→	B	A	↘	B
ⅳ) コラボヘルスの推進	ⅳ) 健康経営(コラボヘルス)の推進	A	→	A	S	↘	A
(3) 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進	(3) 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進	A	→	A	A	↘	A
(4) ジェネリック医薬品の使用促進	(4) ジェネリック医薬品の使用促進	S	↘	A	S	↘	A
(5) インセンティブ制度の本格導入	(5) インセンティブ制度の本格導入	A	↘	B	A	→	A
(6) パイロット事業を活用した好事例の全国展開	(6) パイロット事業を活用した好事例の全国展開	A	→	A	A	→	A
(7) 地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改革等に向けた意見発信	(7) 医療データの分析に基づく地域の医療提供体制への働きかけ	A	↘	B	A	↘	B

※【判定基準】

S: 計画を大幅に上回っている A: 計画を上回っている B: 計画を概ね達成している

C: 計画を達成できていない D: 計画を全く達成できておらず、大幅な改善が必要

Ⅱ. 船員保険

1. 基盤的保険者機能関係

令和元年度評価項目	平成30年度評価項目	令和元年度		H30年度	
		自己評価	最終評価	自己評価	最終評価
(1) 保険給付等の業務の適正な実施	(1) 保険給付等の業務の適正な実施	B	→	B	A ↘ B
(2) 効果的なレセプト点検の推進	(2) 効果的なレセプト点検の推進	B	→	B	S ↘ A
(3) 柔道整復施術療養費等の照会業務の強化	(3) 柔道整復施術療養費等の照会業務の強化	A	→	A	A ↘ B
(4) あんまマッサージ担任・鍼灸施術療養費の適正化の推進	—	B	→	B	—
(5) 返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進	(4) 返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進	B	→	B	A ↘ B
(6) サービス向上のための取組	(5) サービス向上のための取組	A	→	A	A ↘ B
(7) 高額療養費制度の周知	(6) 高額療養費制度の周知	A	→	A	B → B
(8) 職務上の事由による休業手当金等の上乗せ給付等の申請勧奨	(7) 職務上の事由による休業手当金等の上乗せ給付等の申請勧奨	B	→	B	A ↘ B
(9) 被扶養者資格の再確認	(8) 被扶養者資格の再確認	B	→	B	A → A
(10) 福祉事業の着実な実施	(9) 福祉事業の着実な実施	B	→	B	A ↘ B
(11) 健全な財政運営	(10) 健全な財政運営	B	→	B	A ↘ B

2. 戦略的保険者機能関係

	平成30年度評価項目	令和元年度		H30年度	
		自己評価	最終評価	自己評価	最終評価
(1) データ分析に基づいた第2期船員保険データヘルス計画及び第3期特定健康診査等実施計画の着実な実施	(1) データ分析に基づいた第2期船員保険データヘルス計画及び第3期特定健康診査等実施計画の着実な実施	B	→	B	A ↘ B
(2) 情報提供・広報の充実	(2) 情報提供・広報の充実	B	→	B	A ↘ B
(3) ジェネリック医薬品の使用促進	(3) ジェネリック医薬品の使用促進	S	→	S	S ↘ A

※【判定基準】

S: 計画を大幅に上回っている A: 計画を上回っている B: 計画を概ね達成している

C: 計画を達成できていない D: 計画を全く達成できておらず、大幅な改善が必要

Ⅲ. 組織・運営体制関係

令和元年度評価項目	平成30年度評価項目	令和元年度		H30年度			
		自己評価	最終評価	自己評価	最終評価		
(1)人事制度の適正な運用と標準人員に基づく人員配置	(1)人事制度の適正な運用と標準人員に基づく人員配置	A	→	A	A	→	A
(2)人事評価制度の適正な運用	(2)人事評価制度の適正な運用	A	↘	B	A	↘	B
(3)OJTを中心とした人材育成	(3)OJTを中心とした人材育成	A	↘	B	A	↘	B
(4)支部業績評価の実施	(4)支部業績評価の本格実施に向けた検討	A	↘	B	A	↘	B
(5)費用対効果を踏まえたコスト削減等	(5)費用対効果を踏まえたコスト削減等	B	→	B	B	→	B
(6)コンプライアンスの徹底	(6)コンプライアンスの徹底	A	↘	B	A	↘	B
(7)リスク管理	(7)リスク管理	A	↘	B	A	↘	B
(8)内部統制の強化に向けた取組	—	B	→	B	—		—
(9)システム関連の取組	—	A	↘	B	—		—
(10)協会システムの安定運用	(8)協会システムの安定運用	A	↘	B	A	↘	B
(11)法改正などへの適切なシステム対応	(9)法改正などへの適切なシステム対応	A	→	A	A	→	A
(12)大規模プロジェクトの適切・確実な実施	(10)大規模プロジェクトの適切・確実な実施	A	→	A	A	→	A
(13)中長期を見据えた新システム構想・立案や新技術の動向の調査・検討	(11)中長期を見据えた新システム構想・立案や新技術の動向の調査・検討	A	↘	B	A	↘	B
(14)情報セキュリティやシステム案件関連への適切な対応	(12)情報セキュリティやシステム案件関連への適切な対応	A	↘	B	A	↘	B

※【判定基準】

S:計画を大幅に上回っている A:計画を上回っている B:計画を概ね達成している

C:計画を達成できていない D:計画を全く達成できておらず、大幅な改善が必要

厚生労働省発保 1225 第 1 号

全国健康保険協会

理事長 安藤 伸樹 殿

健康保険法（大正 11 年法律第 70 号）第 7 条の 30 の規定に基づき、別紙のとおり、令和元年度の健康保険事業と船員保険事業の業績の評価を行ったので、その結果を通知する。

令和 2 年 12 月 25 日

厚生労働大臣

田村 憲久

